

小川平吉 （たけのこ） 政治家。明治二十年十一月一日信濃國諏訪郡富士見村生れ。昭和十七年二月五日歿（公元一九四二）。帝國大學卒。辯護士を經じ、明治二十六年衆議院議員（當選一回）。近衛篤磨の東京回又會に参加、また對口シメ海軍論を唱へ對露同盟會を組織。二十八年河野廣中、大河貫一、山田喜之助（會南）等と講和條約反對運動を展開、自比谷公園で國民大會を開いて焼打事件を惹起したことは有名。山憲政反會幹事長、司法相、鐵道相を歴任。昭和四年私鐵取締に連坐。射山と號し漢詩を能くした。

ヴォルテール著 『地球に於ける最も非凡の英雄—瑞典王チャールス十二世傳』（大正十年六月十五日隆文館株式會社）の譯書がある他、『松陰先生夢物語（獄中夢物語）』、『昭和五年八月十五日長野・桑澤禎資編輯』、『新滿洲國をどうするか』（昭和七年四月七日興國青年聯盟出版部）、『射山閑居閑語』（昭和十年二月十五日日本新聞社）、『王道勤道と皇道政治』（昭和十年八月一日廣文堂書房）、漢詩集『射山詩史』（昭和十七年一月二十日日本新聞社）等々著はした。

